

人形劇

たつ子姫物語

あらずじ

その昔、上野川村の館に生まれ育った「たつ子姫」は、年頃となり狩人の妻となり幸福な日々を過ごしていた。

ところが、ある秋収穫間近の農作物を猪が荒らし、村人は困り果てた。みかねたたつ子姫の夫は、猪退治に一人山に入るが、冬になっても姫の待つ家に戻ることはなく、たつ子姫は夫を捜すため一人で冬山に入った。たつ子姫も又家に帰ることはなかった。

春になり、村人多勢で山に狩人夫婦を捜しに入り、中腹で龍の御守り（たつ子姫の特作物）を見つける。しかし、狩人夫婦の姿を見つけられなかった。村人たちはその山に社を建て供養しいつしか

「竜子山」と呼ぶようになった。

たつ子姫物語
12月27日◎

11:00～11:30

上野川集会所

→「たつ子姫物語」上演

10月25日(日)

14時00分～14時30分

コラッセふくしま (福島駅西口)

1階ホール



たつ子姫人形劇団

たつ子姫人形劇団は葛尾村上野川地区に伝わる「たつ子姫伝説」を人形劇として上演することにより、地域への興味や関心を持ってもらうことを目的に結成しました。葛尾村民の地域の歴史や伝統に触れる機会の創出と交流促進になるよう、1から人形や舞台を製作するなど、約半年の月日を準備してきました。

ぜひ足をお運びいただき、ご覧ください。

この事業は<第17回公益信託うつくしま基金>の採択を受け、実施しております。

主宰：たつ子姫物語人形劇団